



平成 27 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 日本海洋掘削株式会社  
代表者名 代表取締役社長 市川 祐一郎  
(コード番号：1606 東証第一部)  
問合せ先 広報・IR室長 谷内 正彦  
(TEL. 03-5847-5862)

### 「HAKURYU-10」に係わる現行掘削工事の期間延長について

当社の連結子会社 Japan Drilling (Netherlands) B.V. (以下 JDN 社) が所有するジャッキアップ型リグ「HAKURYU-10」は、当社の連結子会社 P.T. Japan Drilling Indonesia (以下 JDI 社) (注) がインドネシアの Total E&P Indonesie (以下 TEPI 社) と締結した掘削工事契約に基づき、現在インドネシア・カリマンタン沖において掘削工事に従事しておりますが、今般 TEPI 社から、現行の契約が終了する平成 27 年 7 月 11 日の翌日から契約期間をさらに 1 ヶ年延長するオプションを行使する旨の通知がありましたので、以下のとおりお知らせいたします。

#### 1. TEPI 社によるオプション行使の概要

- (1) 延長される契約期間：平成 27 年 7 月 12 日より 1 年間
- (2) 作業料金建て：日割作業料率方式
- (3) 受注金額(見込み)：約 43 百万米ドル (オプション 1 年分のみ)

なお、本掘削工事を実施するに当たり、当社は JDI 社に対し要員派遣、技術支援等のサービスを提供いたします。JDI 社からは要員派遣、技術支援等のサービスの対価が当社に支払われるとともに、「HAKURYU-10」の備船料が JDN 社に支払われます。

(注) インドネシア共和国で石油開発会社から石油・天然ガス掘削工事を受注・操業する場合には BPMIGAS が発行する操業ライセンスを所有している必要があります。当社グループにおいては、JDI 社が当該ライセンスを取得・保持していることから、JDI 社を本契約当事者としております。

#### 2. 業績に与える影響

本工事の受注による売上高等は来期以降に計上する予定ですので、今期の当社連結業績に与える影響はありません。なお、来期以降の業績に与える影響につきましては、判明次第必要に応じて開示いたします。



ジャッキアップ型リグ  
「HAKURYU-10」



操業海域：インドネシア・カリマンタン沖

**【本開示資料ご利用にあたっての留意点】**

当資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、発表時点で入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となる可能性がありますので、ご注意願います。

以上